

# 没後20年 司馬遼太郎展「21世紀“未来の街角”で」

日本とは何か、日本人とは何かを問い続けた国民的作家、司馬遼太郎（1923～96）が亡くなって20年がたちました。20世紀を駆け抜けた72年の生涯で司馬遼太郎は、『竜馬がゆく』『坂の上の雲』などの数多くの小説やエッセーを残しました。

本展は、戦国時代から現代までの司馬作品が並ぶ展覧会場を、『二十一世紀に生きる君たちへ』に通じる未来の街角に見立て、貴重な自筆原稿や挿絵、関連する歴史資料などを展示します。

『坂の上の雲』のまち松山で開催する今回の展示が、司馬遼太郎の遺したメッセージを体感し、何かを考え、行動するきっかけとなることを願っています。

[プロフィール]

司馬遼太郎（1923～96）

大阪市生まれ。産経新聞文化部記者時代の1960（昭和35）年に『泉の城』で直木賞受賞。その後『竜馬がゆく』『坂の上の雲』『菜の花の沖』などの小説、『街道をゆく』『この国のかたち』などの紀行、エッセーなど多数の作品を残す。1993（平成5）年文化勲章受章。



司馬さん  
本に  
あう。  
本に  
あう。

“未来の街角” MAP

- 戦国動乱 16C 16世紀の街角
- 維新回天 19C 19世紀の街角
- 裸眼の思索 21C 21世紀の街角

**19C**  
維新回天  
19世紀の街角

『菜の花の沖』

19世紀の街角で私たちは、いままさに生まれたばかりの日本人が持ち合わせていた、志にであう。

『坂の上の雲』

あなたが今歩いている  
二十一世紀とは、  
どんな世の中でしょう。

[関連企画]

開会記念講演会

講師：上村洋行氏（司馬遼太郎記念館館長）  
日時：平成29年9月16日（土）13：30～14：30  
会場：愛媛県美術館2階研修室  
参加料：無料（申込不要）/ 先着順：定員60名

講演会

講師：菅康弘氏（NHK 理事、元スペシャルドラマ「坂の上の雲」エグゼクティブプロデューサー）  
日時：平成29年9月23日（土）15：30～17：00  
会場：坂の上の雲ミュージアム2階ホール  
参加料：無料 / 先着順：定員80名  
申込方法：電話にて申し込み。電話：089-915-2601

特別展示 「司馬遼太郎と『坂の上の雲』」

日時：平成30年2月18日（日）まで  
場所：坂の上の雲ミュージアム3階企画ギャラリー



[お問い合わせ]  
**坂の上の雲ミュージアム**  
SAKA NO UE NO KUMO MUSEUM  
〒790-0001 愛媛県松山市一番町三丁目20  
電話：089-915-2600 FAX：089-915-3600

**16C**  
戦国動乱  
16世紀の街角

16世紀の街角で私たちは、動乱の時代を駆け抜けた人々の輝きにであう。

『関ヶ原』

『国盗り物語』

**21C**  
裸眼の思索  
21世紀の街角

21世紀の街角で私たちは、司馬遼太郎が考え続けた、いまだ新しい足跡にであう。

『街道をゆく』

司馬遼太郎 作家への道



①織田信長像（模写）片野記念館 ②「関ヶ原」初出誌「週刊サンケイ」 司馬遼太郎記念館 ③『坂の上の雲』単行本 司馬遼太郎記念館 ④民悦丸模型 坂口富逸氏蔵 ⑤『街道をゆく 南伊予・西土佐の道』挿絵原画 「松山城天守閣」 須田烈太蔵 大阪府（大阪府20世紀美術コレクション）蔵 ⑥初期作品を執筆した文机 司馬遼太郎記念館蔵

## 会場 / 愛媛県美術館

〒790-0007 愛媛県松山市堀之内  
電話：089-932-0010 FAX:089-932-0511 <http://www.ehime-art.jp/>  
[交通案内]

- 駐車場は、県庁西駐車場（2時間無料）をご利用可能、ただし駐車台数に限りがあるため、できるだけ公共交通機関等のご利用をお願いします。
- JR 松山駅より道後温泉または市駅行き市内電車で5分「南堀端（愛媛県美術館前）」下車、徒歩1分
- 松山観光港よりリムジンバスで30分「市駅」下車、徒歩5分
- 松山空港より車で20分

